

建設の機械化

1994.11

No.537



◆巻頭言 道路維持作業の機械化	藤田俊明	1
トンネル一次覆工工法の機械化 ——NTL工法の紹介	東保彦・榎戸靖暢・酒向龍實	3
道路のり面草刈作業のリモートコントロール化	山本穰	10
大型機械による橋梁撤去・架設——第三京浜道路新港北IC工事	荒木滋高	14
画像処理装置を持ったアスファルトフィニッシャの自動化	南一・廣中啓太郎	20
自動化オープンケーソン工法（SOCS）における掘削システムの開発	高木繁・伊佐秀・田中薫・西尾健	25

グラビヤ——自動化オープンケーソン工法（SOCS）実証施工実験
における掘削システム

凍結路面切削機による冬期道路維持	古屋勇吉・高嶋道夫・玉井洋	30
アイスバーン路面形成機「つる丸君」の開発	谷口昭夫・藤谷雅嘉・小嶋敏男	34
地下工事用低床式重量物運搬据付機（CZ 50）の開発	吉田泰弘	39
◆ずいそう “椰子の実会” のこと	近藤正	44
◆ずいそう 私の趣味と腰痛とのかかわり	佐々木久雄	46
低騒音型建設機械の指定（平成6年度第1回分）		48
平成5年度建設機械の生産・輸出入の動向	山崎知巳	52

JCMA

目 次



◆わが工場 新潟鉄工所 高崎工場	昆野洋三	56
昔の土木関係用語 (その4)	渡辺 栄	60
◆お知らせ		67
◆海外情報		68
◆文献調査 ハイテク露天掘り特集	文献調査委員会	70
◆整備技術 潤滑油の知識 (その2) エンジンオイルの劣化とその影響	整備部会	73
◆統計 建設工事受注額・建設機械受注額の推移	調査部会	77
行事一覽		78
編集後記	(東・後町)	82

◇表紙写真説明◇

ランディ LX80 RS アイスバーラットシェーバ 日立建機株式会社

本機は、凍結した路面やわだちを一気に切削し、走りやすいスリット状の粗面を形成する、新鋭マシンです。走行駆動方式には、変速操作のいらぬ先進のHSTを採用。無段階にコントロールできる走行ペダルとスムーズなインテングプレーキ性能により、作業状態に合わせた車速、駆動力が得られるのでタイヤスリップによる横滑りが少なく、安定した切削作業が行えます。

その他の特長として

- アングルブレードおよびロータリースクレーにより、凍結・圧雪も細かく粉砕

- わだち高さ最大200mmまで切削が可能
- 強制排雪と路面高の平均化を同時に行うため、作業時間を大幅に短縮。
- 3mの幅の道路を一度に除雪。
- マイナス気温でも除雪路面のスリット形成が可能。

＜本機的主要仕様＞

運転整備質量	13,170 kg
エンジン定格出力	160/2,200 PS/rpm
ロータリースクレー；直径	780 mm
切削幅	2,500 mm
回転数 (最大)	370 rpm
わだち高さ (最大)	200 mm
チルト角度 (左右各)	5度
走行速度 (Hi/Ls)	0-31/0-12 km/h